

# 不登校や発達障害に悩む子どもたちを孤立させない居場所づくり

放課後の居場所 ひまわりの森

## 1.当団体について

本事業の目的は、不登校や発達障害で悩む子どもたちの居場所を作ることによって孤立させない支援を構築する事である。三田市狭間が丘の自宅の一室での学習支援活動を通じて、学校に行きたいけれど、学びに不安がある、友達との関係性に不安がある、家庭環境が不安定で困窮しているなど、小さな躓きをきっかけに不登校となる児童、生徒の様子を目の当たりにしてきた。こうした子どもたちに学習機会及び学習支援を提供することで、躓きの原因を無くすとともに、近隣の博物館とも連携し、子どもが持つそれぞれの得意分野に気づき、育む機会を提供する。ひまわりの森に来て過ごす時間を通じ、自己肯定感を少しでも高めるとともに、それぞれのペースに合わせ、社会の中で生き抜く力を育むための場作りを行っている。



## 2.主な活動

1 定期学習支援活動	2 ひまわりの森 Friday	3 ひまわりマルシェ
<b>実施日:</b> 毎週月・水・木 <b>時間:</b> 16:30~19:00 <b>対象:</b> 小学生~高校生  ・学校の宿題や学習のサポート ・大学生ボランティア参加 →個々の理解度に合わせた学習支援を実施 ・学習面だけでなく、安心して過ごせる居場所づくりを重視	<b>実施日:</b> 毎週金曜日 <b>時間:</b> 13:00~19:00 <b>対象:</b> 小学生~高校生 (保護者参加可)  【13:00~】保護者個別相談プログラム 保護者相談会 親のおしゃべり会 不登校児への対応・相談 【15:00~】子ども向けプログラム 学習支援、野外活動、自由プログラム (折り紙・絵画・工作など)	<b>実施場所:</b> エキマエアキチ  ・子どもたちと一緒にイベントを作り上げる ・緑日、ワークショップの実施 ↓ ・チャレンジ精神 ・コミュニケーション能力 ・思考力 を育成する

月・水・木曜日には公共施設で学習支援活動を行い、不登校や発達障害のある子どもたちが安心して学べる環境を提供している。

金曜日は地域再生事業の試験的運営拠点「エキマエアキチ」をお借りしてひまわりの森フライデーを開催、子どもマルシェや親の会などイベントを多数行っている。

★マルシェ:年間10回程度

★親の会:毎月第1金曜日

## 2.成果・今後の目標

地域活動への参加や、子どもマルシェ・ワークショップなどの体験を通じて、これまで「参加者」の立場であった子どもたち一人ひとりが、徐々に「運営に関わる側」としての役割を担うようになってきている。悩みや困りごとに対して不満を抱くことは容易である一方、それを自分の意見として言語化し、改善に向けた行動へとつなげていくことは決して簡単ではない。本活動では、子どもたちが関わる小さな「社会」の中で、自分自身にも環境を変えていく力があることに気づく経験を積み重ねてきた。これにより、主体性やチャレンジ精神、他者と協力する姿勢が育まれつつあり、自己肯定感の向上にもつながっている。また、悩みに寄り添い「心の支え」となることを目的とした小さな学習支援活動は、新たなスタッフやボランティアの参画を得て「ひまわりの森」として発展し、地域に根差した支援の場として認知され始めている。

今後は、「あの団体に相談すると力を貸してくれる」「心強い存在だ」と地域から信頼される団体となることを目指し、支援の質と継続性をさらに高めていく。そのために、これまでの相談内容や支援事例、子どもたちの変化や成長の過程をデータベースとして蓄積し、活動の振り返りや改善、よりの確な助言につなげていく仕組みを整えていく。これにより、個別の支援にとどまらず、今後の活動全体に広がりや深みを持たせていきたいと考えている。

「ひまわりの森」が単なる居場所に留まらず、地域における実質的な支えとして機能し続けられるよう、子ども・保護者・地域と共に歩む活動を継続していく。